

中村設計新聞

第四十二号

六月二十一日(土)曇り

今月の土曜研修は一昨年当社にて実施設計を手掛けた、三つの施設の、見学を行いました。

○はじめに

6月の土曜研修は、環境配慮及び長寿命化を目的として改修を行った、京都市立山階小学校・中京中学校、耐震補強及び全体整備を行ったハンナリーズアリーナ(京都市体育館)を見学しました。

見学後には各人が感想、意見を出し合い、設計の目的や方法をはじめデザインや安全性・コスト管理のあり方について議論し合いました。

○研修レポート『山階小学校』

学校を訪れるとまず目に飛び込んでくるのが、外壁に設けられたルーバーです。校舎内に飾ってあった校舎の改修を記念して子供達が描いた絵画にも色々な表現で描かれていて印象的でした。教室内部には腰壁のみやや杉木が張られ、以前より温かみがある雰囲気になつていました。新しく作られた昇降口前にはリサイクルガラスでクジラが描かれ、ここにちがはとと
言わんばかりに元気に子供達を迎えてくれているような気がしました。



昇降口前に描かれたくじら

○研修レポート『中京中学校』

一昨年改修実施設計の担当をし、竣工後初めて見る機会を得ました。設計者として本来のコンセプトである環境配慮、長寿命化はもちろん、中京中学校の新しい顔となる地域性を全面に持たしたデザインをイメージし、設計しました。完成後の姿を見て、当初のねらいどおり京都の景観に一助できたかな、と思いました。

井澤弘隆

○研修レポート『ハンナリーズアリーナ』
見学の当日は、ちようどりリニューアル記念のイベントでマーチングとドッチボール大会が開催されていました。タチイミングよく実際に使用されているところを見学でき、利用者の状況を肌で感じられ、躍動する姿に感動し、この仕事にかかわれたのが良かったと思いました。



地域の特性を生かした木製格子状のケーブルラック、腰壁にみやこ

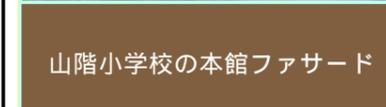


リニューアル記念のドッチボール大会。白熱していました！

見学風景



中京中学校の南校舎ファサード



山階小学校の本館ファサード



京都市体育館 (ハンナリーズアリーナ)



正面出入り口の建具改修。格子のデザインを取り入れ学校の顔を作りました。



メインファサードに格子を設置しました。京町家の系屋格子をイメージ。



いっぱい収穫できそう！



特に成長が早い今年のゴーヤ
たくましく成長しているゴーヤ



○ゴーヤカーテン

○まとめ
今回、当社が設計にたずさわった三物件の見学を通じて、建築の設計という業務の責任の重大さ、そして面白さというものを改めて再確認できました。京都に事務所を構える会社として、地域に、そして子供たちやスポーツを楽しむ利用者の方々に貢献できたことに一層の誇りと責任を感じました。また、環境配慮、長寿命化、耐震補強という今の時代がかかえる社会的な課題を持つ物件を一年の間に三件も携われたということに大きな意味があります。今後、大いに役に立つと思います。今回の仕事、そして見学を通じて、改めて建築設計という仕事を社会や人に対して提案してゆく役割の重要性を再確認することができ大変良かったです。ご協力頂いた方々に御礼を言いたいと思います。